



しあわせホームタウン **甘楽**
HAPPY HOMETOWN KANRA

今年のまちづくり予算



甘楽スマートインターチェンジ（令和5年3月25日開通）

甘 楽 町

令和5年度
2023
年

目 次

施政方針	1
予算の規模	2
事業実施のための財源	3

主要なまちづくり事業 ※事情により年度途中で事業の変更や中止となる場合があります。

<一般会計>

1 町議会の運営	4
2 行政区の運営活動	4
3 「広報かんら」、「町民カレンダー」の発行	4
4 デマンドタクシー「愛のりくん」の運行	5
5 上信電鉄の運行支援	5
6 地域おこし協力隊の活動	6
7 【新規】電気自動車の購入	6
8 ふるさと納税の推進	6
9 町民の日記念事業	7
10 友好都市との交流	7
11 交通指導員の活動	7
12 交通安全対策	8
13 防犯対策	8
14 【拡充】国際交流	9
15 海外駐在員の活動	9
16 まちづくり定住応援金	9
17 【拡充】移住定住支援	10
18 空き家対策	10
19 新商品研究開発支援	10
20 若年者の雇用支援	11
21 若年者の奨学金返還支援	11
22 「かんらの天水」活用	12
23 個人番号（マイナンバー）カード交付事業	12
24 金婚式と敬老のお祝い	12
25 老人クラブの活動支援	13
26 高齢者の見守りを兼ねた移動販売補助	13
27 家族介護慰労金	13
28 地域密着型サービス事業開設補助	13
29 高齢者の人間ドック助成	14
30 医療費の無料化（福祉医療費）	14
31 障害者福祉の推進	14
32 【新規】多世代サポートセンター空調更新工事	15
33 子どもたちの放課後の居場所づくり	15
34 幼児教育・保育の支援	16
35 保育料の無料化	16
36 【拡充】結婚新生活支援	16
37 出産祝金	17
38 【新規】家庭子育て世帯応援金	17

39	子育て支援センターの運営	17
40	【新規】病児・病後児保育	18
41	公立富岡総合病院と公立七日市病院の運営	18
42	【拡充】予防接種	18
43	【拡充】がん検診・健康診査	19
44	新型コロナウイルスワクチン接種	19
45	母子保健事業	19
46	【新規】出産・子育て応援交付金	20
47	環境対策への補助	20
48	家庭ごみの収集処理	21
49	し尿処理	21
50	農業委員会の運営	22
51	農業の振興	22
52	オーガニックビレッジの推進	22
53	甘楽ふるさと館・道の駅甘楽の運営	23
54	畜産伝染病対策	23
55	農業体験	23
56	森林経営管理制度	24
57	ふるさとを離れる学生の支援	24
58	土地改良（農道や農業用水路の整備）	24
59	里山の整備	25
60	有害鳥獣対策	26
61	林道の整備	26
62	産業団地の売却	26
63	企業誘致の促進	27
64	商工業者への金融支援	27
65	創業・事業継続支援と空き店舗の活用	27
66	観光イベント	28
67	生活道路の維持補修	28
68	【新規】道路後退用地の整備	28
69	生活道路の整備	29
70	橋梁の維持補修	30
71	公園の整備	30
72	木造住宅の耐震化	31
73	住宅リフォームの補助	31
74	広域の消防と救急体制の整備	31
75	甘楽町消防団の運営	32
76	防災対策	32
77	適応指導教室の運営	33
78	外国語教育の推進	33
79	小学校の運営	34
80	中学校の運営	34
81	生涯学習の推進	35
82	文化財保護と民俗芸能の継承	35
83	国指定名勝 楽山園の運営	35
84	文化会館の運営	36

85	図書館（ら・ら・かんら）の運営	36
86	長岡今朝吉記念ギャラリーの運営	36
87	さくらマラソン大会の運営	37
88	学校給食の提供	37
89	学校給食の無料化	38
90	借金（町債）返済	38

<特別会計・企業会計>

90	国民健康保険事業	39
91	介護保険事業	40
92	後期高齢者医療	41
93	農業集落排水事業	41
94	公共下水道事業	42
95	水道事業	43

施政方針

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過し、国においては、新型コロナウイルスを5類感染症とする事を決定しております。町としては感染症対策を行いながら、町政の基本である町民の皆様が安全で安心して生活できることに重点を置いた予算を編成いたしました。令和5年度は、第6次総合計画に盛り込まれた町民の声をいち早く実施するよう配慮し、各種事業計画に盛り込まれた重点施策について、事業を実施して参ります。

一般会計当初予算は、厳しい財政状況のなか、新たな子育て支援対策事業、新型コロナウイルス感染対策事業などの重要事業を予定しています。財源は、国・県の補助金のほか、財政調整基金や学校建築基金など各基金（貯金）の繰入れにより確保し、町債（借金）の借入れは最小限に抑制しました。予算執行に当たっては、財政状況の変化により柔軟に対応し、実施事業の取捨選択や経常経費のより一層の圧縮を進め、健全な財政運営に努めて参ります。

本町財政は、今後も厳しい状況に変わりはありませんが、町民生活の向上を図るため、必要な予算はしっかりと確保して参りたいと考えておりますので、町民の皆様の深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この冊子は、令和5年度の甘楽町の当初予算概要をまとめたものです。町の様々な施策の中でも町民に身近な事務事業の予算を掲載いたしました。町民の皆様に関心のある施策にいくらかを知らせし、実現に向けて町としても全力で取り組んでいくことをお示しするものです。

これからも皆様を聞きながら、一緒に力を合わせてまちづくりを進めていきたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和5年4月

甘楽町長

藤原 莊一

予算の規模（過去10年間の推移）

年 度	当初予算額	前年比較	増減率	(参考) 歳出決算額
令和5年度	65億3,000万円	5,600万円 増	0.9%増	
令和4年度	64億7,400万円	7億900万円 増	12.3%増	
令和3年度	57億6,500万円	4億9,800万円 増	9.5%増	66億7,272万円
令和2年度	52億6,700万円	1,500万円 減	0.3%減	72億2,517万円
令和元年度	52億8,200万円	4億3,600万円 増	9.0%増	51億7,193万円
平成30年度	48億4,600万円	2億3,800万円 減	4.7%減	49億4,510万円
平成29年度	50億8,400万円	1億800万円 増	2.2%増	50億6,630万円
平成28年度	49億7,600万円	25億2,800万円 減	33.7%減	51億2,024万円
平成27年度	75億 400万円	14億6,900万円 増	24.3%増	80億4,005万円
平成26年度	60億3,500万円	14億500万円 増	30.3%増	59億5,663万円

令和5年度予算の特徴は…



一般会計予算の総額は65億3,000万円で、前年比0.9%増の大型予算となりました。

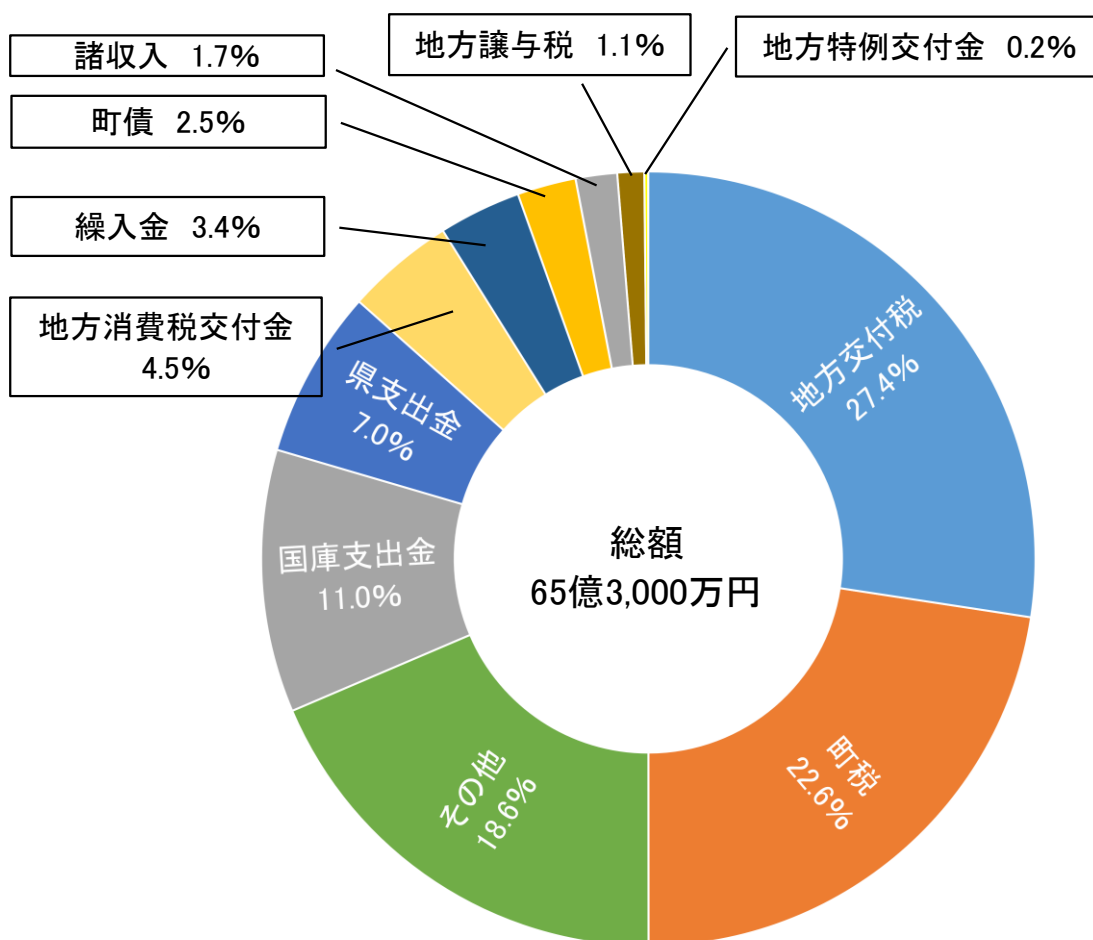
増えた要因は、中道第2工業団地開発事業、町道天王・下平線の歩道整備をはじめとする道路改良事業、福島小学校屋上防水改修事業などの建設事業が増加したことによるものです。

新たな施策としては、病気又は病気回復期の児童を預かる「病児・病後児保育事業」、妊娠期から出産・子育てまで安心して子育てができる環境を整備する「出産・子育て応援金交付事業」などの子育て支援対策事業のほか、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を目指す、オーガニックビレッジを推進する事業などを計上しました。

このほか、主な予算は次ページ以降で紹介します。

事業実施のための財源

事業を行うには資金が必要です。前ページの予算総額65億3,000万円を、どのような財源でまかなうのかをグラフでお知らせします。



説明

地方交付税	17億9,000万円	全ての地方公共団体が一定の水準で行政事務が行えるよう、国が集めた税金の一定割合を再配分する制度
町税	14億7,430万円	住民税、固定資産税、法人町民税など町が徴収する税
国庫支出金	7億1,571万円	事業の実施のために国から交付される負担金、補助金など
町債	1億6,020万円	町が事業を行うために資金調達として負担する債務で、借入金(ローン)にあたる
県支出金	4億5,886万円	事業の実施のために県から交付される負担金、補助金など
その他	12億1,412万円	国からの交付金、繰越金、使用料、寄附金など
繰入金	2億2,476万円	町が目的に応じて積み立てている基金(預金)の取り崩し
地方消費税交付金	2億9,500万円	地方消費税10%の一部が、人口や統計数値に応じて市町村に交付される
諸収入	1億1,321万円	給食費、販売収入、外部機関からの納付金など
地方譲与税	7,283万円	自動車重量税やガソリン税などの収入額の一部が、道路延長や面積で配分される
地方特例交付金	1,100万円	減税に伴う地方の減収額の一部を補てんするために交付される財源で、地方税の代替的性格を有する

一般会計

1 町議会の運営

5,784 万円

町民の代表である議員は、町民の声を町政に反映させるため、条例・予算などを議会で議論し決定しています。議会は、町と相互に抑制と均衡を図り、町民が安心して暮らせるまちづくりのために活動しています。年4回「議会だより」を発行し、住民に議会活動報告を行うほか、一般質問の録画を公開しています。

主な経費

議員報酬、手当、共済費 12人分	5,538 万円
議員活動のための事務経費	246 万円

財源

町の負担	5,784 万円
------	----------

2 行政区の運営活動

1,259 万円

区長、区長代理、組長の皆さんの協力をいただき、住民と町との情報連携、円滑な行政サービスに努めます。町には1区から28区までの25行政連絡区があります。

主な経費

区長の報償金 25人 世帯割1,200円 平等割80,000円	716 万円
区長代理の報償金 30人 世帯割300円 平等割20,000円	186 万円
組長の報償金 対象世帯数4,300世帯 世帯割600円	258 万円
災害補償、自治会活動保険料	99 万円

財源

町の負担	1,259 万円
------	----------

3 「広報かんら」、「町民カレンダー」の発行

493 万円

住民と町とのコミュニケーションを高めるため、「広報かんら」、「おしらせ版」、「町民カレンダー」を作成し発行します。

主な経費

「広報かんら」印刷代 毎月1回 4,920部発行	418 万円
「令和6年度町民カレンダー」印刷代 5,350部発行	75 万円

財源

広報かんら、町民カレンダー広告料(協賛企業等)	78 万円
町の負担	415 万円

4 デマンドタクシー「愛のりくん」の運行

997 万円

固定の停留所を設けず、町内全域ならどこでも乗降できるデマンド型タクシーの運行を行っています。運行事業者は公募により(有)昭和タクシーに委託しています。

デマンドタクシーの維持により、交通弱者及び公共交通空白地域住民の日常生活に不可欠な公共交通移動手段を確保し、外出の促進と地域の活性化を図ります。

主な経費

デマンドタクシー運行補助金 997 万円

財 源

県からの補助金 46 万円

町の負担 951 万円



<登録・利用予約>

フリーダイヤル
0120-74-0013
午前8時～午後6時

<利用料金>

乗車1回あたり
おとな300円
こども100円

令和4年度の利用者数は延べ7,073人、登録者は1,352人(令和5年3月1日現在)です。運転免許を自主返納した方には回数券を贈呈しています。



5 上信電鉄の運行支援

2,356 万円

通勤・通学者の重要な公共交通である上信電鉄の運行を支援するため、群馬県及び沿線市町村(高崎市・富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町)が共同して経営再建計画に基づき財政支援をしています。県道金井高崎線の拡幅に伴い、上州新屋駅が線路北側へ移転し、無料駐車場・ロータリーが整備されたことで、利便性の向上が期待されます。

主な経費

上信電鉄運行支援(レール、枕木、車両整備費など) 2,254 万円

【新規】上信電鉄再構築調査(鉄道の現状・課題の分析、効果検証) 102 万円

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 500 万円

町の負担 1,856 万円



6 地域おこし協力隊の活動

2,550 万円

都市地域から過疎地域等(甘楽町)に住み票と生活の拠点を移す人を、町が募集して地域おこし協力隊として委嘱するもので、隊員は一定期間(最長3年)町に居住し、町のPRや地域活動など地域おこしの活動を行います。現在3名の隊員が活動しており、今年度は4名の隊員を募集しています。

主な経費

隊員活動報償金(給与) 7名分	1,680 万円
民間住宅家賃補助、自動車借上料など	670 万円
活動経費	200 万円

財 源

町の負担(ただし、経費は特別交付税として国から交付されます)	2,550 万円
--------------------------------	----------

7 【新規】電気自動車の購入

1,063 万円

公用車に電気自動車を2台購入するとともに、外部給電器を購入して、環境への配慮、災害発生時における非常用電源として活用します。

主な経費

電気自動車購入費2台(令和4年度からの繰越事業)	920 万円
電気自動車用外部給電器2台	143 万円

財 源

電気自動車購入補助金	170 万円
町の負担	893 万円

8 ふるさと納税の推進

1,599 万円

ふるさと納税に係る返礼品の費用や、ポータルサイトへの掲載、寄附金の収納手続などを事業者へ委託し、財源確保を図るとともに、町の特産品などの周知拡大に取り組めます。ふるさと納税の目標額は3,900万円です。

主な経費

返礼品費用	1,002 万円
ポータルサイト掲載委託料、収納手数料	597 万円

財 源

町の負担	1,599 万円
------	----------

9 町民の日記念事業

12 万円

町発足65周年記念事業として、町民の日に、NHK全国放送公開番組「東京落語会」の収録が令和6年2月17日(土)に文化会館で実施されます。多くの町民の方のご観覧をお待ちしています。

主な経費

記念事業に係る経費 12 万円

財源

町の負担 12 万円

10 友好都市との交流

40 万円

東京都北区と、バレーボールやサッカーなどスポーツを中心に継続的な交流事業を実施しています。また、愛知県小牧市で開催される、織田信長に関する団体の会議、織田サミットへ参加します。

主な経費

東京都北区交流事業 25 万円

織田信長サミットへの参加 15 万円

財源

町の負担 40 万円

11 交通指導員の活動

280 万円

通学路の誘導や交通安全運動、イベント開催時など地域の安全を見守る交通指導員10人が活躍しています。

主な経費

交通指導員10人の報酬 230 万円

交通指導員10人の活動経費等 50 万円

財源

町の負担 280 万円



1 2 交通安全対策

243 万円

町内交通事故の撲滅と子どもや高齢者などの交通弱者が安心して過ごせるための交通安全対策に取り組みます。令和5年度は、カーブミラーの新規設置や高齢者運転免許証自主返納支援を推進します。

主な経費

交通安全運動の経費	49 万円
カーブミラーなどの設置や修繕 10カ所	182 万円
高齢者運転免許証自主返納支援(デマンドタクシー愛のりくん回数券など)	12 万円

財 源

反射ベスト販売代金	1 万円
町の負担	242 万円



1 3 防犯対策

823 万円

町民が安全に、安心して暮らせるため、防犯灯の維持管理・新規設置を行い、地域の防犯委員とともに防犯活動を推進します。また、特殊詐欺電話対策器を購入し、希望する高齢者世帯へ貸し出します。

主な経費

防犯灯の新規設置 LED型20基予定	66 万円
防犯灯の電気代、修繕など維持管理	643 万円
防犯カメラ電気代	11 万円
防犯委員と防犯協会の活動費	75 万円
【拡充】特殊詐欺電話対策機器購入費(50台)	28 万円

財 源

町の負担	823 万円
------	--------

1 4 【拡充】国際交流

2,614 万円

青年使節団及び中学生研修団を相互に派遣するほか、イタリア チェルタルド市との姉妹都市交流40周年を記念して、11月に記念式典・記念事業を実施します。

主な経費

甘楽町中学生研修団派遣	769 万円
甘楽町使節団派遣(チェルタルド市で開催される食の祭典「ボッカチェスカ」に参加)	280 万円
チェルタルド市青年使節団受け入れ	231 万円
記念式典、記念事業(モニュメント制作、絵画展、使節団受け入れ)	1,334 万円

財 源

自治体国際化協会、地域活性化センター助成金など	460 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	500 万円
町の負担	1,654 万円

1 5 海外駐在員の活動

317 万円

イタリアチェルタルド市在住の日本人を駐在員に任命し、中学生の交流事業など各事業におけるチェルタルド市との連絡調整や現地での手配・通訳、ワインやオリーブオイルなどの輸入の手続きを委託しています。本年は駐在所として日本酒の紹介イベントに取り組みます。

主な経費

海外駐在員活動委託料	143 万円
【新規】イタリアチェルタルド市及びフィレンツェ市での日本酒PRイベント参加経費	174 万円

財 源

地域活性化センター助成金	100 万円
町の負担	217 万円

1 6 まちづくり定住応援金

675 万円

定住化による活力あるまちづくりを推進するため、新築家屋を取得した方に応援金を交付します。令和3年度より町外からの転入者、中学生以下の子どもがいる世帯、住宅用の土地を購入した方、町内業者で施工したなどの条件により金額を加算する制度に拡充しています。

主な経費

まちづくり定住応援金 60戸見込み	675 万円
-------------------	--------

財 源

町の負担	675 万円
------	--------

17 【拡充】移住定住支援

200 万円

甘楽町への移住定住を促進するため、国・県とともに東京圏から町への移住者を対象に、移住支援補助金を交付します。今年度から18歳未満の子どもの加算額を1人あたり30万円から100万円(上限300万円)に拡充しました。

主な経費

移住支援補助金 200 万円
(単身:60万円、2人以上の世帯100万円、18歳未満の子ども1人あたり100万円を加算)

財源

県からの補助金 150 万円
町の負担 50 万円

18 空き家対策

450 万円

増え続ける空き家の対策のため、危険な空き家を解体した場合に補助金を交付します。また、空き家の利活用を推進するため、空き家をリフォームして居住する方に補助金を交付します。今年度は、空き家対策をさらに進めるため空き家片付け応援補助金を新設しました。

主な経費

危険な空き家の解体補助金(不良住宅及び特定空き家除却補助金) 5戸見込み 250 万円
空き家リフォーム補助金 2戸見込み 100 万円
【新規】空き家片付け応援補助金 100 万円

財源

国からの交付金 150 万円
町の負担 300 万円



19 新商品研究開発支援

140 万円

町の産業の活性化を図るため、新たに研究開発される食品、工芸品等に対し経費の一部を助成します。補助率は8/10で、上限50万円まで支援します。

また、県と町の共同(パートナーシップ)により、新たな技術や製品開発にかかる経費の一部も助成します。補助率の上限は群馬県が40万円、甘楽町が40万円です。

主な経費

町新商品研究開発支援補助金(2件) 100 万円
ぐんま技術革新チャレンジ補助金(1件) 40 万円

財源

町の負担 140 万円

20 若年者の雇用支援

205 万円

若者の帰町や定住を推進するため、町内企業が大学や高校等の卒業生を正社員として採用した場合に、事業所に助成金を支給します。助成額は大卒等25万円/人、高卒10万円/人です。また、令和3年度からは、就職した本人(外国人含む)にも10万円を助成しています。

主な経費

大卒者等新卒採用 (3名)	75 万円
高卒者新卒採用 (5名)	50 万円
本人への助成 (8名)	80 万円

財源

町の負担	205 万円
------	--------



21 若年者の奨学金返還支援

300 万円

『かんら未来人財応援事業』として、将来を担う若者の定住及び町内企業の活性化を図るため、町内に定住する若者又は町内企業で就業する若者が返済する奨学金の一部を支援します。支援は30歳になるまでの期間で、最長5年、総額60万円です。

主な経費

奨学金返還支援助成金 30人見込み	300 万円
-------------------	--------

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	100 万円
町の負担	200 万円



<奨学金返還支援助成金制度のご案内>

◎対象となる奨学金

独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金

◎対象者(要件の一例)

- ・年度の4月1日現在で30歳未満の人
- ・奨学金の貸与を受けて、その返還を行っている人
- ・正規雇用により就業し、継続して勤務していること(ただし、公務員の方は支援対象外です)

◎助成金は、年度内に返還した奨学金の額の2分の1以内で、年間の上限額は下記のとおりです。

助成期間は最長5年間(60月分)です。

- ・町内に住所を有し、かつ、町内企業で就業する人 12万円 (5年間で最大60万円)
- ・町内に住所を有する人 10万円 (5年間で最大50万円)
- ・町内企業で就業する人(住所は町外でも可) 2万円 (5年間で最大10万円)

2 2 「かんらの天水」活用

398 万円

「かんらの天水」は、災害への備え、防災意識の醸成、地域の活性化、環境問題への関心、持続可能な施策の展開などを目的に、産官学民の連携によって令和3年11月に商品化されました。水源となる山林の間伐と植林事業により、水源保全も進めています。

主な経費

製造業務委託料	316 万円
保管料など	82 万円

財 源

企業版ふるさと納税	330 万円
飲料水販売収入	14 万円
町の負担	54 万円

2 3 個人番号（マイナンバー）カード交付事業

564 万円

個人番号カードは、行政のデジタル化を進める上での基盤となるもので、すべての国民が取得することを目指しています。

主な経費

個人番号カード交付事務費…人件費、郵便料など	564 万円
------------------------	--------

財 源

国からの交付金	564 万円
---------	--------

2 4 金婚式と敬老のお祝い

255 万円

婚姻後50周年を迎えたご夫婦に対し、慶祝状と記念品を贈呈して長寿をお祝いしています。また、節目の年齢を迎えた高齢者に対し、敬老祝金及び特別敬老祝金を贈呈して長寿を祝い、敬老の意を表しています。

主な経費

金婚式記念品 30組見込み	15 万円
特別敬老祝金(100歳到達) 10万円 10人見込み	100 万円
敬老祝金(88歳、99歳、101歳以上) 1万円 118人見込み	118 万円
敬老祝品(89歳～98歳) 記念品支給 500人見込み	22 万円

財 源

町の負担	255 万円
------	--------



25 老人クラブの活動支援

114 万円

高齢者福祉の推進を図るため、各老人クラブへ補助金を交付するものです。

主な経費

町内各老人クラブ、町老人クラブ連合会	97 万円
85歳以上会費分補助(350人見込み)	17 万円

財源

県からの補助金	61 万円
町の負担	53 万円

26 高齢者の見守りを兼ねた移動販売補助

54 万円

高齢者が安心して日常生活を送れるように、高齢者の見守りを兼ねて移動販売を実施している事業者に対し、その経費の一部を助成しています。

主な経費

運営費助成(月額1万円)	24 万円
車両購入費助成(補助対象経費の1/2 上限30万円)	30 万円

財源

町の負担	54 万円
------	-------

27 家族介護慰労金

150 万円

日常生活に著しい支障のある在宅高齢者を介護する人に対して、介護の労をねぎらうことを目的とし、慰労金を支給します。

主な経費

家族介護慰労金 10世帯見込み	150 万円
-----------------	--------

財源

町の負担	150 万円
------	--------

28 地域密着型サービス事業開設補助

4,115 万円

町の選定委員会で選定された、地域密着型サービス施設を整備する事業者に対し、施設整備・開設準備に係る経費を助成します。

主な経費

施設整備補助金(基礎単価 3,360万円)	3,360 万円
開設準備経費等補助金(定員1人当たり 84万円)	755 万円

財源

県からの交付金	4,115 万円
---------	----------

29 高齢者の人間ドック助成

400 万円

後期高齢者医療被保険者の健康増進を図るため、人間ドック検診費を助成します。

主な経費

高齢者の人間ドック助成 400 万円

財源

後期高齢者医療広域連合からの助成金 230 万円

町の負担 170 万円

30 医療費の無料化（福祉医療費）

9,766 万円

子ども、重度心身障害者、母子家庭の母と子、父子家庭の父と子の健康と福祉の増進を目的に、医療機関窓口で支払う自己負担金を福祉医療費として公費で支給しています。実質医療費が無料となる制度で、令和4年度より中学生までの子どもから高校生世代までに拡充しています。

主な経費

中学生までの子ども、高校生世代の福祉医療費 対象者1,620人 4,200 万円

重度心身障害者、高齢重度障害者の福祉医療費 対象者260人 4,680 万円

母子家庭、父子家庭の福祉医療費 対象者165人 594 万円

事務手数料など 292 万円

財源

県からの交付金 4,730 万円

地域福祉基金(町が福祉のために積み立てている貯金)から繰り入れ 1,500 万円

町の負担 3,536 万円

31 障害者福祉の推進

3億6,914 万円

障害者の訓練費や自立支援医療費等の負担を軽減することで、自立した日常生活、社会生活を送れるよう支援するものです。

主な経費

障害者自立支援介護給付費 2億5,040 万円

自立支援医療給付費 3,142 万円

地域生活支援事業委託料 1,132 万円

障害児通所給付費 5,078 万円

その他委託料・補助金など 2,522 万円

財源

国からの交付金 1億7,451 万円

県からの補助金 8,819 万円

地域活動支援センター管外利用者負担金など 131 万円

町の負担 1億513 万円

3 2 【新規】多世代サポートセンター空調更新工事

4,700 万円

多世代サポートセンター(にこにこ甘楽。1994年建築)の空調設備を更新し、適正な維持補修により施設の長寿命化、維持管理コストの縮減を図ります。

主な経費

設計監理委託料	261 万円
空調設備更新工事	4,439 万円

財 源

甘楽町公共施設等整備基金	1,700 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	500 万円
町の負担	2,500 万円



3 3 子どもたちの放課後の居場所づくり

2,612 万円

子育て支援として学童保育所に関する費用を計上し、円滑な管理運営を行います。また、新屋学童保育所の外壁及び電気設備を改修し、施設の適正な維持管理に努めます。

主な経費

新屋学童保育所改修費	559 万円
かんら学童保育所指定管理者委託料	1,348 万円
放課後子ども教室推進事業費	705 万円

財 源

国からの交付金	528 万円
県からの交付金	750 万円
放課後子ども教室負担金	13 万円
町の負担	1,321 万円

3 4 幼児教育・保育の支援

3億5,069 万円

保育を必要とする保護者が安心してこどもを預けられるよう、めぶきの森かんら、かんら保育園及び管外保育委託に関する運営経費を支出するほか、給食費や延長保育に係る補助金を支援します。

主な経費

めぶきの森かんら 定員205人	1億7,569 万円
かんら保育園 定員120人	1億 26 万円
管外施設型給付費	5,174 万円
給食費補助金	1,104 万円
その他の補助金	1,196 万円

財 源

国からの交付金	1億5,460 万円
県からの補助金	7,625 万円
保育所児童受託料	545 万円
町の負担	1億1,439 万円



3 5 保育料の無料化

828 万円

町では、令和4年度から子育てに伴う家計の負担を軽減するため、第2子以降のこどもにかかる保育料を無料化しています。

減収額

保育所児童受託料の減収見込み(第2子以降分)	828 万円
------------------------	--------

3 6 【拡充】結婚新生活支援

300 万円

結婚を機に新たに住宅を購入、リフォームまたは賃貸する新婚夫婦に、住居費およびリフォーム費用、引越費用の一部を支援します。

主な経費

結婚新生活支援補助金交付	300 万円
要件:夫婦双方65歳以下、所得800万円未満 上限30万円	
ただし、夫婦双方29歳以下、所得500万円未満の場合は上限60万円	

財 源

県からの補助金	90 万円
町の負担	210 万円

37 出産祝金

300 万円

生まれたこどもの健全な育成を目的に、出産された方に出産祝金を支給しています。

主な経費

出産祝金(甘楽町商工会商品券) 50,000円×60人 300 万円

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 300 万円



38 【新規】家庭子育て世帯応援金

342 万円

保育所等に通所していない0歳から3歳の児童で、保護者または祖父母等が家庭で子育てをしている世帯へ応援金を支給します。

主な経費

応援金(甘楽町商工会商品券) 児童1人あたり30,000円 342 万円

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 300 万円

町の負担 42 万円

39 子育て支援センターの運営

1,327 万円

児童の健全な育成環境を整備するため、地域の子育て支援拠点となる子育て支援センターの運営強化を図ります。

主な経費

子育て支援センター業務委託料 1,327 万円

財源

国からの交付金 441 万円

県からの交付金 441 万円

町の負担 445 万円

40 【新規】病児・病後児保育

1,221 万円

児童が病気または病気の回復期のため集団生活が困難な時期に、保護者の就労や病気等のやむを得ない理由により家庭で保育できない時に預かる、病児・病後児保育を実施し、子育て環境の充実を図ります。

主な経費

病児保育事業業務委託料	703 万円
病後児保育事業業務委託料	518 万円

財源

国からの交付金	407 万円
県からの交付金	407 万円
町の負担	407 万円

41 公立富岡総合病院と公立七日市病院の運営

3,105 万円

当地域の拠点病院である公立富岡総合病院と公立七日市病院は、富岡地域医療企業団が経営を担っています。富岡市と甘楽町は開設者(運営者)として病院建設費や医療用機械器具購入費などの一部を負担しています。

主な経費

富岡地域医療企業団負担金	3,105 万円
--------------	----------

財源

町の負担	3,105 万円
------	----------

42 【拡充】予防接種

3,579 万円

感染症から身を守り安心して暮らせるように、予防接種の体制を整備し、町民の健康保持を支援します。5年度は帯状疱疹ワクチン接種の助成を始めます。

主な経費

予防接種委託料・医薬品ほか	3,444 万円
【新規】帯状疱疹予防接種補助	135 万円

財源

国からの交付金	61 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	500 万円
町の負担	3,018 万円

4 3 【拡充】がん検診・健康診査

2,157 万円

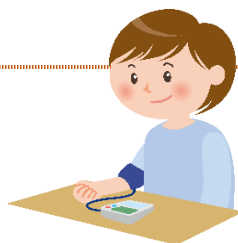
町民の健康を保持するため、がん検診や住民健診、健康教育を通して、疾病の予防・早期発見を行います。また、無料の健康相談(健康ダイヤル24)を24時間体制で実施しています。

主な経費

がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、前立腺がん、肺がん)	1,795 万円
住民健康診査、歯科健診(20歳・30歳)	268 万円
【新規】医療用補整具(ウイッグ、人工乳房等)購入助成金	15 万円
健康ダイヤル24	79 万円

財 源

国からの交付金	19 万円
県からの補助金	65 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	500 万円
受診者の負担金	197 万円
町の負担	1,376 万円



4 4 新型コロナウイルスワクチン接種

5,225 万円

新型コロナウイルス感染症の発症と重症化予防を目的としたワクチン接種に係る費用です。

主な経費

ワクチン接種委託	3,052 万円
事務経費(人件費・医薬材料費・コールセンター運営など)	2,173 万円

財 源

国からの交付金	5,225 万円
---------	----------

4 5 母子保健事業

1,689 万円

妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を整え、子育てしやすいまちづくりを推進します。また、不妊・不育症・未熟児養育医療などの治療に係る費用を助成します。

主な経費

妊娠出産支援(産後ケア・産婦健診など)	97 万円
子ども子育て支援	123 万円
未熟児養育医療	50 万円
不妊・不育症治療費等補助	335 万円
妊婦健診・妊婦歯科健診 110人見込み	982 万円
ブックスタート事業 60人見込み	14 万円
その他事務経費	88 万円

財 源

国からの交付金	168 万円
県からの交付金	35 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	100 万円
町の負担ほか	1,386 万円

46 【新規】出産・子育て応援交付金

611 万円

妊娠期から出産・子育てまで、伴走型支援(身近な相談支援)と経済的支援(応援交付金支給)を一体的に実施し、すべての妊婦・子育て家庭が、安心して出産・子育てを実施していくことができる環境を整備します。

主な経費

伴走型支援	6 万円
経済的支援 妊娠届時・出生届時に各5万円	605 万円

財 源

国からの交付金	403 万円
県からの交付金	101 万円
町の負担	107 万円



47 環境対策への補助

441 万円

リサイクル推進のため、資源ごみを集団回収している子ども会に奨励金を支給します。また、行政区で第2、4土曜日に実施している資源ごみの分別作業の奨励金として、分別収集売上額の約70%を補助金として各行政区へ還元します。

また、生ごみ処理機等設置補助金、スズメバチ駆除費補助金に加え、温暖化防止対策として住宅用太陽光発電蓄電池設置補助金を新設しました。

主な経費

子ども会の廃品集団回収への補助金 1kg当たり3円を補助	45 万円
各行政区への分別収集補助金 世帯割400円 平等割30,000円	236 万円
生ごみ処理機等設置補助金(電動式生ごみ処理機、コンポストなど)	42 万円
スズメバチ等駆除費補助金 駆除費の1/2 最大10,000円	18 万円
【新規】住宅用蓄電池設置補助金 補助単価 1万円/1kwh 上限額5万円	100 万円

財 源

分別収集売上金	244 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	100 万円
町の負担	97 万円



48 家庭ごみの収集処理

1億6,207 万円

各家庭から排出されるごみ(一般廃棄物)を適切に収集運搬するために、各ごみの種類に応じて指定袋を作成し、住民の方々のごみ出しの協力により収集運搬を円滑に実施します。

町には焼却施設がないため、富岡市清掃センターへ焼却委託をしています。5年度は、プラスチック製容器包装のごみ処理手数料を引き下げて、プラスチック製品のリサイクルを促進し、燃やせるごみの排出量の削減を図ります。

○ごみ処理手数料の引き下げ(令和5年5月1日から)

プラスチック製容器包装用指定袋1袋10枚	(大)	400円	→	200円
〃	(中)	300円	→	150円
〃	(小)	150円	→	100円

主な経費

ごみ指定袋作成費、販売委託料	1,070 万円
富岡市清掃センターごみ焼却委託料	1億491 万円
【年間ごみ排出量見込み】 家庭ごみ2, 200トン、事業所320トン	
ごみ収集処理委託料	4,386 万円
その他ごみ(小型家電、乾電池、蛍光灯、不法投棄処理など)処理経費	260 万円

財源

県からの交付金	7 万円
ごみ指定袋販売収入など	3,427 万円
町の負担	1億2,773 万円



49 し尿処理

217 万円

第6次町総合計画により、公共下水道・農業集落排水事業の整備区域外について、合併処理浄化槽の設置を推進し水質浄化に努めています。

今後も合併浄化槽の設置に要する経費の補助をはじめ、汲み取り槽や単独浄化槽から合併浄化槽へ転換した場合の宅内排水設備工事に要する経費を補助する制度を運用し、設置・転換を促進します。

主な経費

合併処理浄化槽設置補助金	84 万円
合併処理浄化槽宅内排水設備、維持管理補助金	133 万円

財源

国・県からの補助金	88 万円
町の負担など	129 万円

50 農業委員会の運営

609 万円

農地法に基づく農地の売買、転用、賃貸借の許可に関する事務を行います。また、農地の利用状況調査及び農地利用集積による利用権設定の斡旋等を行い、遊休農地の解消に努めます。

主な経費

農業委員人件費(農業委員・農地利用最適化推進委員各8名)	327 万円
農地利用最適化事業調査等	282 万円

財源

県からの交付金など	261 万円
町の負担	348 万円

51 農業の振興

1,089 万円

農業者及び農業者による団体に対する各種補助事業実施、特定野菜価格差給付事業による負担金交付、農業関係施設の維持管理、地産地消の推進、認定農業者連絡協議会などの取組みを推進します。

主な経費

農地利用効率化等支援交付金	451 万円
蚕糸業継承対策事業補助金	105 万円
農業経営収入保険加入促進助成金 上限5万円	150 万円
【新規】生分解性マルチ補助金	50 万円
【新規】農地リフォーム事業補助金	50 万円
農業用廃資材等補助金、地域ブランド強化、地産地消推進など	283 万円

財源

県からの補助金	545 万円
町の負担ほか	544 万円

52 オーガニックビレッジの推進

1,260 万円

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んで、地域ぐるみの取組を進める町(オーガニックビレッジ)を目指して、有機農業産地づくりを推進します。

主な経費

【新規】有機農業産地づくり推進	1,092 万円
環境保全型農業直接支援対策交付金	168 万円

財源

県からの補助金	1,126 万円
町の負担	134 万円

5 3 甘楽ふるさと館・道の駅甘楽の運営

1億3,140 万円

甘楽ふるさと館は、自然を生かした体験事業を通して都市農村交流や産業振興を進めています。今年度は、施設改修により利用者の利便性向上、新しいサービスに取り組んでいきます。

道の駅甘楽は、地元農産物などの販売により地域活性化を図るとともに、来訪者へ町の魅力を発信しています。

主な経費

甘楽ふるさと館管理運営委託料	5,881 万円
甘楽ふるさと館改修工事費	6,779 万円
施設修繕、維持管理	349 万円
土地賃借料など	131 万円

財 源

甘楽ふるさと館使用料	4,723 万円
北区からの助成金	1,224 万円
都市農村交流基金繰入金	4,143 万円
町の負担など	3,050 万円

5 4 畜産伝染病対策

108 万円

CSF(豚熱)などの畜産関係の伝染病対策として、家畜自衛防疫推進協議会により各種予防ワクチン接種を行い、伝染病防止に取り組めます。

主な経費

畜産伝染病対策	108 万円
---------	--------

財 源

町の負担	108 万円
------	--------

5 5 農業体験

130 万円

ふるさと農園の野菜作り、那須地区のちいじがきそば作り、信州屋東側の桑園での桑の実の収穫体験など、農業体験により農業振興を図ります。

主な経費

甘楽ふるさと農園管理運営、桑園整備委託	75 万円
施設維持管理費	39 万円
土地賃借料など	16 万円

財 源

町の負担ほか	130 万円
--------	--------

56 森林経営管理制度

575 万円

森林経営管理制度とは、町から森林の所有者に制度利用の意向調査を行い、管理を委託したいと意向のあった場合に、森林の現地調査や境界確認等を行い、町が当該森林を管理する権利を設定します。その後、森林の状況に応じて、民間事業者へ経営管理を委託するものです。森林環境譲与税交付金を活用して、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ります。

主な経費

森林経営管理制度実施委託料 575 万円

財源

森林環境譲与税基金繰入金 575 万円

57 ふるさとを離れる学生の支援

130 万円

町から親元を離れて、町外で暮らしている学生に対して道の駅甘楽で販売している町内で製造生産された詰め合わせセットを送り、生産者支援及び学生への支援をします。

主な経費

甘楽町ふるさと甘楽仕送り便 130 万円

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 100 万円

町の負担 30 万円

58 土地改良（農道や農業用水路の整備）

2,000 万円

農業生産の向上に向け、運搬や作業の効率化のための農道整備、作付けに必要な用水の供給・排水のための農業用水路の整備・更新を行います。

主な経費

農道や農業用水路の整備 2,000 万円

【予定箇所】秋畑(伏鹿)、福島(稻荷北)、白倉(五反田)、天引(入木屋、新屋下)

財源

県からの交付金 610 万円

町の負担 1,390 万円

ぐんま緑の県民税等の補助金を活用して、地域の団体と協力して里山や山林などの森林環境の整備を行います。今年度は善慶寺地区の竹林整備を予定しています。

主な経費

「ぐんま緑の県民基金事業」を活用した荒廃林整備	98 万円
荒廃林整備後の維持管理	39 万円

財源

県からの補助金	137 万円
---------	--------

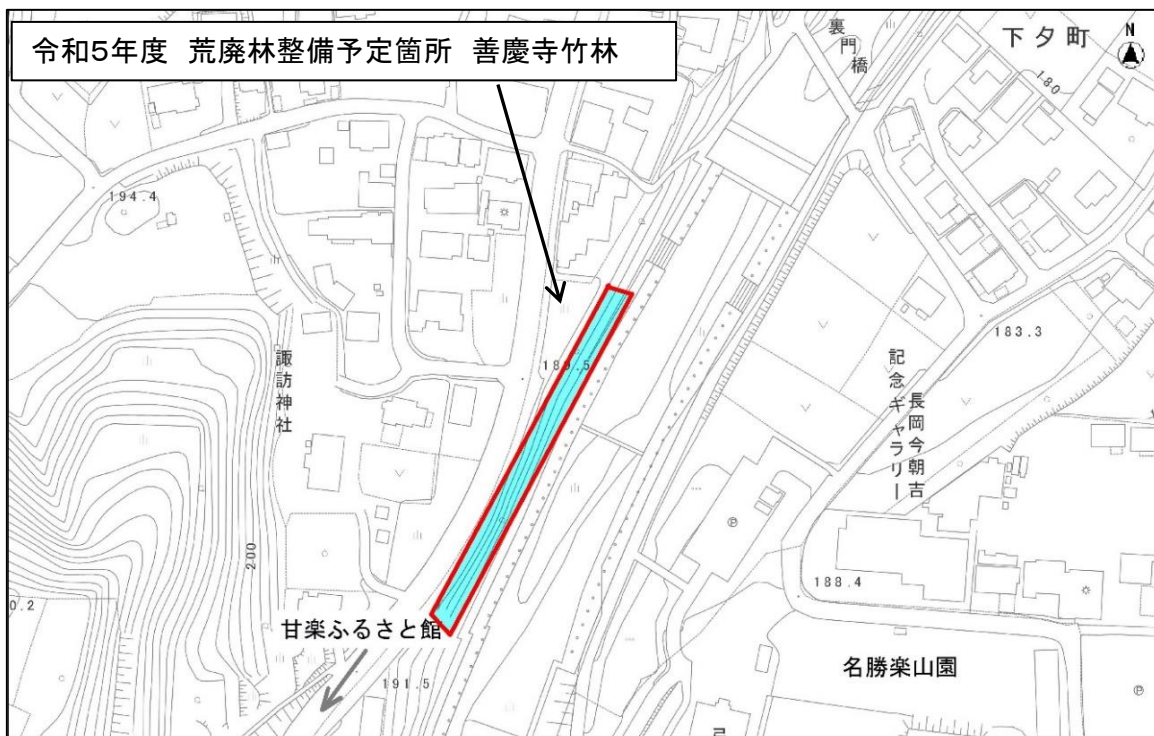


★今年の荒廃林整備予定箇所は次の位置図をご覧ください。

「ぐんま緑の県民税」とは

大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、平成26年度から導入された群馬県の税金です。現在の税額は、県民税均等割として年間一人700円です。

甘楽町では、この税金の一部を補助金として受け取り、荒廃した里山や竹林などの整備に活用しています。



60 有害鳥獣対策

482 万円

有害鳥獣による人的被害、農林水産物等への被害を防止するための施策を進めます。また、狩猟免許の取得、銃砲等の所持の許可及び購入する費用の一部を助成しています。今年度から、電気柵等の購入に係る経費の一部を助成する、町独自の補助金を新設しました。

主な経費

有害鳥獣駆除委託料	168 万円
狩猟免許取得等補助金	41 万円
鳥獣害防止対策補助金(県補助)	50 万円
鳥獣害防止対策補助金(町の単独補助)	200 万円
その他経費	23 万円

財源

県からの補助金	232 万円
町の負担	250 万円

61 林道の整備

3,786 万円

林業・特用林産物の生産性の向上を図りながら、山間地域の連絡道路や山間部の集落の生活道としての役割を担う林道と林業経営のための作業道の整備を進めます。また、森林資源の循環利用を進めていきます。

主な経費

林道整備事業(稲倉高倉線・芳の元線・二ノ倉線・大平線)	1,580 万円
群馬県が整備する林道草喰八丁河原線の工事負担金など	1,697 万円
森林組合が整備する作業道の補助金など	509 万円

財源

県からの補助金	1,127 万円
町の負担	2,659 万円

62 産業団地の売却

8億8,000万円

甘楽郡土地開発公社から、造成済の中道第二工業団地を町が購入して、企業へ売却します。

主な経費

中道第二工業団地土地購入費	8億8,000万円
---------------	-----------

財源

町の負担(企業への売却収入)	8億8,000万円
----------------	-----------

6 3 企業誘致の促進

1,832 万円

町内に新規進出または規模拡大した企業や店舗に対し、企業誘致促進事業補助金(固定資産税相当額、下水道受益者分担金の1/2など)を交付しています。

主な経費

企業誘致促進事業補助金(町内に新規進出又は増築した企業など) 1,832 万円

財 源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 500 万円

町の負担 1,332 万円

6 4 商工業者への金融支援

1,208 万円

町内の中小企業者の育成と商工業の振興を図るため、町小口資金融資利用者に対する保証料補助、利子補給等を行います。

主な経費

小口融資資金利子補給金 (180件分) 900 万円

小口融資資金信用保証料補助金 (60件分) 300 万円

その他経費 8 万円

財 源

町の負担ほか 1,208 万円

6 5 創業・事業継続支援と空き店舗の活用

175 万円

町の創業支援事業計画に従って、町と連携する事業者等が行う創業支援の取組みに要する経費の一部を補助し、町内における新たな創業を促すとともに新規事業者の育成、雇用の創出を図ります。また、事業継続・拡大に取り組む店舗等を支援する店舗継続・拡大サポート事業補助金を新設し、地域経済の活性化を目指します。

主な経費

空き家空き店舗等活用支援事業補助金 (1件分) 50 万円

創業支援事業者補助金 50 万円

新規創業支援補助金 25 万円

【新規】店舗継続・拡大サポート事業補助金 補助率1/4 上限30万円 50 万円

財 源

町の負担 175 万円

66 観光イベント

1,693 万円

城下町小幡「武者行列」、花火大会、もみじウオークなど、観光資源を活用した様々なイベントの開催により、町への誘客と地域振興を目指します。

主な経費

イベント用の衣装代、消耗品、委託料、記念品など 1,693 万円

財源

ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税) 600 万円

町の負担など 1,093 万円



67 生活道路の維持修繕

3,042 万円

舗装の打換えや外側線などの道路標示更新により、町道の維持修繕を行い、利用者の利便性や安全性の向上を図ります。

主な経費

測量設計業務委託、道路・水路修繕工事、道路維持補修工事など 3,042 万円

財源

町の負担など 3,042 万円

68 【新規】道路後退用地の整備

500 万円

幅員4m未満の狭あい道路について、建築行為等により道路後退が生じた場合、後退部分の寄附を受け入れ、整備を行い、消防車や救急車などの緊急車両の通行を可能にして、安全で安心な生活環境の整備を図ります。

主な経費

狭あい道路後退用地整備事業 500 万円

財源

国からの交付金 250 万円

町の負担など 250 万円

68 生活道路の整備

2億2,339万円

人々の生活に不可欠な基盤の一つである道路整備を行いながら、平常時はもとより災害時にも、住民が安全で安心して通行できる道づくりを目指します。

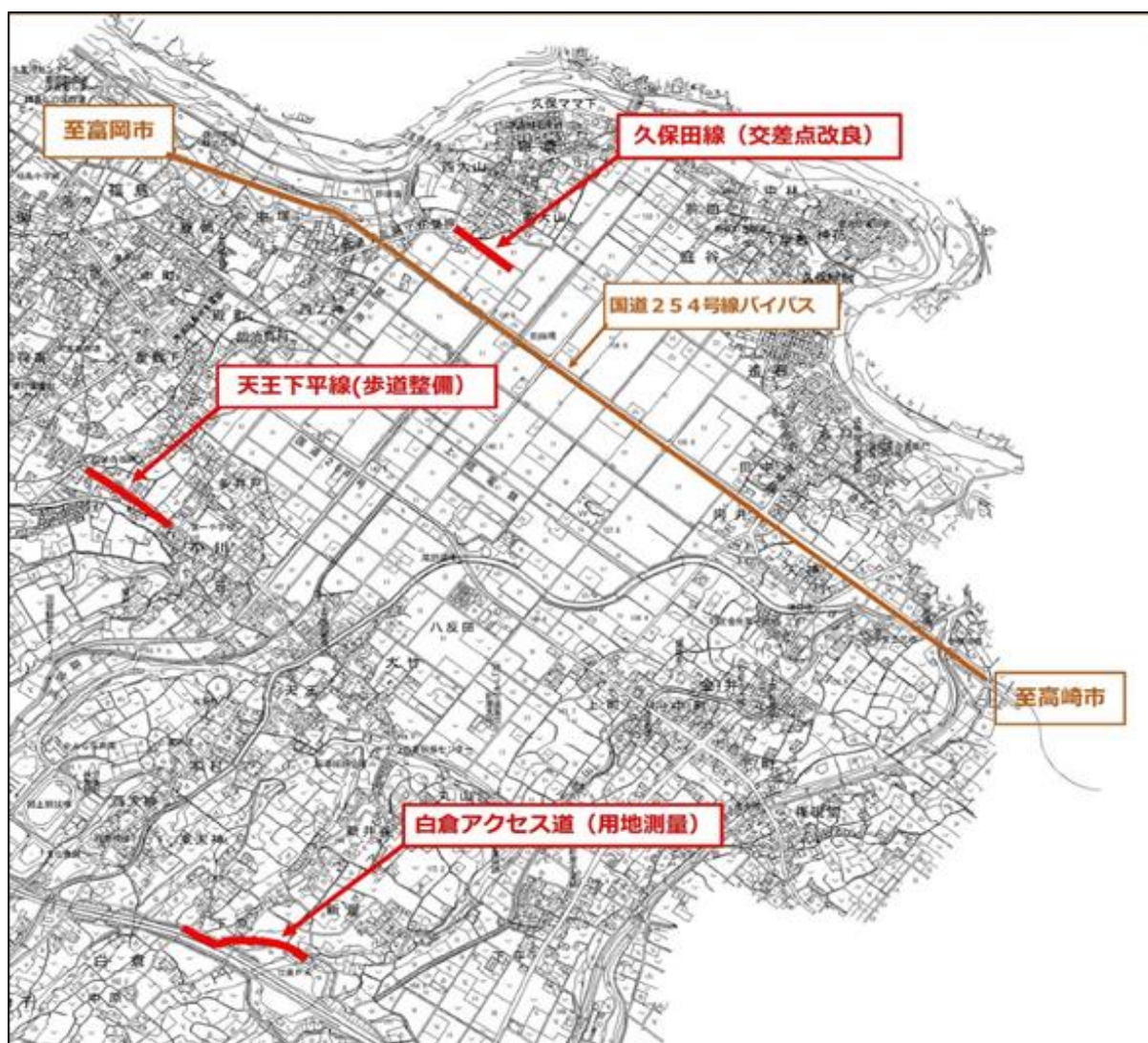
主な経費

道路改良工事費、設計委託費、土地購入費など	2億2,320万円
その他経費	19万円

財源

国からの交付金	11,394万円
町の負担	10,945万円
町の負担のうち借金(町債)	(9,280万円)

【令和5年度道路改良工事予定箇所位置図】



70 橋梁の維持補修

6,070 万円

甘楽町橋梁長寿命化計画により、町内の老朽化した橋梁の計画的な維持補修を進めています。今年度は、台持橋、下神田橋、竹本橋の補修工事を実施する予定です。

主な経費

橋梁補修設計業務委託	1,020 万円
橋梁補修工事	5,050 万円

財源

国からの交付金	3,300 万円
町の負担	2,770 万円
町の負担のうち借金(町債)	(2,420 万円)

71 公園の整備

7,710 万円

笹浦公園、総合公園、大手門周辺の公園等整備により、親しまれる空間づくりを図るとともに、魅力ある地域づくり、生活環境の整備に努めます。

主な経費

笹浦公園整備	20 万円
【新規】総合公園周辺整備	2,350 万円
【新規】大手門周辺整備(小幡幼稚園・小幡小学校プール解体)	5,340 万円

財源

国からの交付金	1,896 万円
町の負担	5,814 万円
町の負担のうち借金(町債)	(1,120 万円)



7 2 木造住宅の耐震化

140 万円

耐震診断士を派遣して木造住宅における耐震状況の調査を行い、耐震基準が確保されていないと判断された住宅の耐震改修工事を支援するものです。

主な経費

木造住宅耐震診断士派遣事業	10 万円
木造住宅耐震改修補助金	100 万円
木造住宅耐震シェルター等設置工事補助金	30 万円

財 源

国からの交付金	70 万円
県からの補助金	32 万円
町の負担	38 万円

7 3 住宅リフォームの補助

200 万円

町内の業者を活用して住宅をリフォームした場合に、その対象費用の一部を補助します。補助率は20%ですが、中学生以下の子どもがいる世帯は30%に引き上げています。限度額は20万円です。

主な経費

住宅リフォーム補助金	200 万円
------------	--------

財 源

町の負担	200 万円
------	--------

7 4 広域の消防と救急体制の整備

2億4,689 万円

消防や救急業務は、甘楽町と富岡市、下仁田町、南牧村の4市町村で構成する富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合(事務所は富岡市富岡)が共同で運営しています。各市町村の人口や財政規模に応じて経費を負担しています。

主な経費

富岡甘楽広域消防本部負担金	2億4,689 万円
---------------	------------

財 源

町の負担	2億4,689 万円
------	------------



75 甘楽町消防団の運営

2,404 万円

甘楽町消防団は、火災や災害など有事の際に活動するするほか、日頃からの予防消防や訓練活動をしています。

主な経費

消防団員報酬	568 万円
消防団員出動報酬	906 万円
消防団活動支援金	140 万円
【拡充】準中型運転免許取得費補助金 4件分	68 万円
その他(活動服、補償負担金、消防援助隊への活動支援金など)	722 万円

財 源

町の負担	2,404 万円
------	----------

【消防団管轄区域及び基準団員数】

部 名 等	管轄区域	団員数(人)
正副消防団長	全域	2
正副第1分団長	第1分団管轄内	2
正副第2分団長	第2分団管轄内	2
第1分団第1部	小幡(第1区)、国峰、善慶寺	18
第1分団第2部	小幡(第2区、第3区)、上野、轟	18
第1分団第3部	秋畑	15
第2分団第1部	福島、小川、白倉(第21区)	22
第2分団第2部	白倉(第22区、第23区)、天引	20
第2分団第3部	金井、造石、庭谷	20
機能別団員	有事の際、所属部で出動	10
機能別ラッパ隊員	式典で活動	5

76 防災対策

543 万円

防災訓練の実施、非常用食料品の購入、防災行政無線設備や防災メール配信に係る定期点検の実施、災害対策費用保険の加入により、災害の発生に備えます。また、防災士資格取得に要する費用を補助し、防災スペシャリストの育成を図ります。

主な経費

防災訓練経費、非常用食料品、土嚢袋など	100 万円
防災行政無線・防災メール配信システム委託料	351 万円
災害対策費用保険料	64 万円
その他(衛星携帯電話料、防災士取得補助金など)	28 万円

財 源

町の負担	543 万円
------	--------

77 適応指導教室の運営

141 万円

定住自立圏構想の共同事業として実施する適応指導教室の負担金を計上し、すべての子どもが学び続けられる環境を整備します。

主な経費

適応指導教室共同運営費 141 万円

財源

町の負担 141 万円

78 外国語教育の推進

1,750 万円

外国青年を小・中学校及び認定こども園、保育園へ派遣することにより、幼い時から英語に親しむ環境を整備するとともに、正確な発音の習得と外国人と触れ合う機会の増加により、国際感覚を身につけるための教育推進に取り組みます。

主な経費

英語指導助手(ALT)4名の報酬 1,483 万円

社会保険料、旅費など 267 万円

財源

町の負担 1,750 万円



◎ALTの紹介◎

ケネス・シモニアン(アメリカ)	新屋小学校
ケイトリン・スタントン(アメリカ)	福島小学校
ブレンダン・バスティアン(アメリカ)	小幡小学校
ホリー・ウェブ(イギリス)	甘楽中学校



79 小学校の運営

1億3,328 万円

用務員、学校支援員、特別支援教育支援員、心の教育相談員、学校司書を各小学校に配置し、児童へのきめ細かな対応や教育指導を実施します。また、情報教育支援業務や水泳指導業務を委託してICT教育、水泳授業の充実に取り組みます。

施設の維持管理においては、昨年に引き続いて老朽化した机と椅子を計画的に更新するほか、福島小学校屋上防水工事、新屋小学校プール解体撤去工事を実施します。

主な経費

小学校運営経費	6,641 万円
小学校施設維持管理経費	2,269 万円
小学校教育振興経費	1,140 万円
【新規】福島小学校屋上防水改修工事	2,648 万円
【新規】新屋小学校プール解体撤去工事	630 万円

財 源

国からの補助金	89 万円
学校建築基金繰入金など	2,023 万円
町の負担	1億1,216 万円



◎児童数(4月7日現在)

小幡小 146人
 福島小 154人
 新屋小 229人 小学校合計 529人

80 中学校の運営

6,081 万円

用務員、学校支援員、特別支援教育支援員、心の教育相談員、部活動指導員を配置し、生徒へのきめ細かな対応や教育指導を実施します。また、ICT機器関連経費を計上するとともに情報教育支援業務を委託してICT教育の充実に取り組みます。そのほか、すべての生徒が安心して学習や運動に取り組むことができるように、スクールバス運行経費、机・椅子の更新費用、就学援助費などを計上しています。

主な経費

中学校運営経費	3,734 万円
中学校施設維持管理経費	1,325 万円
中学校教育振興経費	1,022 万円

財 源

国からの補助金	49 万円
県からの補助金	70 万円
体育館使用料など	29 万円
町の負担	5,933 万円

◎甘楽中生徒数(4月7日現在)

1年生 101人 2年生 109人 3年生 93人
 中学校合計 303人

8 1 生涯学習の推進

195 万円

年齢や性別を問わず学習機会を提供し、誰もが参加しやすい学習環境の整備に取り組むことにより、生涯学習を推進します。

主な経費

地区生涯学習推進協議会補助金など	103 万円
町民文化講座・公民館教室講師謝礼金など	42 万円
町文化協会補助金など	50 万円

財源

県からの補助金	7 万円
町の負担	188 万円

8 2 文化財保護と民俗芸能の継承

553 万円

貴重な文化遺産の保存整備を進めるとともに、町内各地域に伝わる民俗芸能・伝統行事の継承を支援することにより、地域コミュニティの維持・強化を図ります。

主な経費

文化財の管理、保存整備に係る経費	216 万円
民俗芸能大会の経費	87 万円
第1区祭事用品整備補助金	250 万円

財源

自治総合センター助成金	250 万円
町の負担	303 万円

8 3 国指定名勝 楽山園の運営

2,210 万円

県内唯一の大名庭園として復原整備された名勝楽山園を適切な維持管理に努めながら、その魅力を県内外に周知し、集客を図る取組みを行います。

主な経費

人件費、庭園植栽木管理、光熱費など	2,210 万円
-------------------	----------

財源

観覧料収入	824 万円
物品販売収入など	201 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	200 万円
町の負担	985 万円



84 文化会館の運営

3,573 万円

町民が身近に芸術・文化に親しめる文化施設として、自主事業の実施と運営及び会館の適切な維持管理に努めます。

主な経費

かんら能、寄席、歌謡コンサートなど公演経費	1,000 万円
人件費、光熱費など	2,573 万円

財源

入場料、会館使用料など	789 万円
ふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)	100 万円
町の負担	2,684 万円



◎予定している公演
ふれあいの丘歌謡祭
宝生流「かんら能・狂言」
遊びの広場&作品展
かんら寄席 ほか

85 図書館(ら・ら・かんら)の運営

2,618 万円

図書の充実を図り、子育て担当や学校と連携し、「読み聞かせ会」などのイベント開催により、読書習慣の啓発を推進します。また、昨年導入した電子書籍システムの充実を図り、図書館利用の利便性向上に努めます。

主な経費

図書館運営経費(人件費、維持管理費)	1,819 万円
電子書籍システム使用料・保守委託料など	557 万円
図書購入費など	242 万円

財源

施設使用料など	65 万円
町の負担	2,553 万円

86 長岡今朝吉記念ギャラリーの運営

1,022 万円

名誉町民故長岡今朝吉翁からの寄贈絵画、人間国宝須田賢司氏の作品などを展示し、観光客誘致、町の文化を発信します。

主な経費

ギャラリー運営経費(人件費、維持管理費)	1,022 万円
----------------------	----------

財源

長岡今朝吉福祉基金繰入金など	870 万円
町の負担	152 万円

87 さくらマラソン大会の運営

999 万円

町の長距離走の普及と地域振興を図り、町外・県外から参加者を募集し、観光・特産品などの町の魅力をPRします。

主な経費

第40回大会(令和5年度)の開催経費	924 万円
第41回大会(令和6年度)の準備経費	75 万円

財 源

ランナー参加費、企業協賛金	510 万円
宝くじ助成金(スポーツ振興くじ)	190 万円
町の負担	299 万円



88 特色ある学校給食の提供

1億1,150 万円

有機野菜や地元の食材の使用を推進し、学校給食の日、国際交流記念日給食などの特色ある給食を提供します。また、昨年からは、すべての児童生徒が給食時間を安全に楽しんで過ごせるように、食物アレルギーに対応した給食を提供しています。

主な経費

給食センターの運営経費(人件費、光熱水費、衛生品、設備点検など)	5,967 万円
学校給食用の食材購入	5,183 万円

財 源

給食費(教職員等分)	550 万円
町の負担	1億600 万円



◎給食センターで作っている食数
令和5年度は、児童、生徒、教職員を
合わせて、1日あたり950食を作っています。

89 学校給食の無料化

4,139 万円

令和4年度から、子育てに伴う負担を軽減するため、小学校及び中学校の児童生徒の給食費を無料化しています。

減収額

給食費の減収(小学生分)	45,600円×529人(5年度児童数見込み)	2,412 万円
給食費の減収(中学生分)	57,000円×303人(5年度生徒数見込み)	1,727 万円



90 借金（町債）の返済

4億4,144 万円

町では、事業費が大きい道路や施設を整備するときなどに、国や金融機関などから町債と呼ばれる借金をすることがあります。

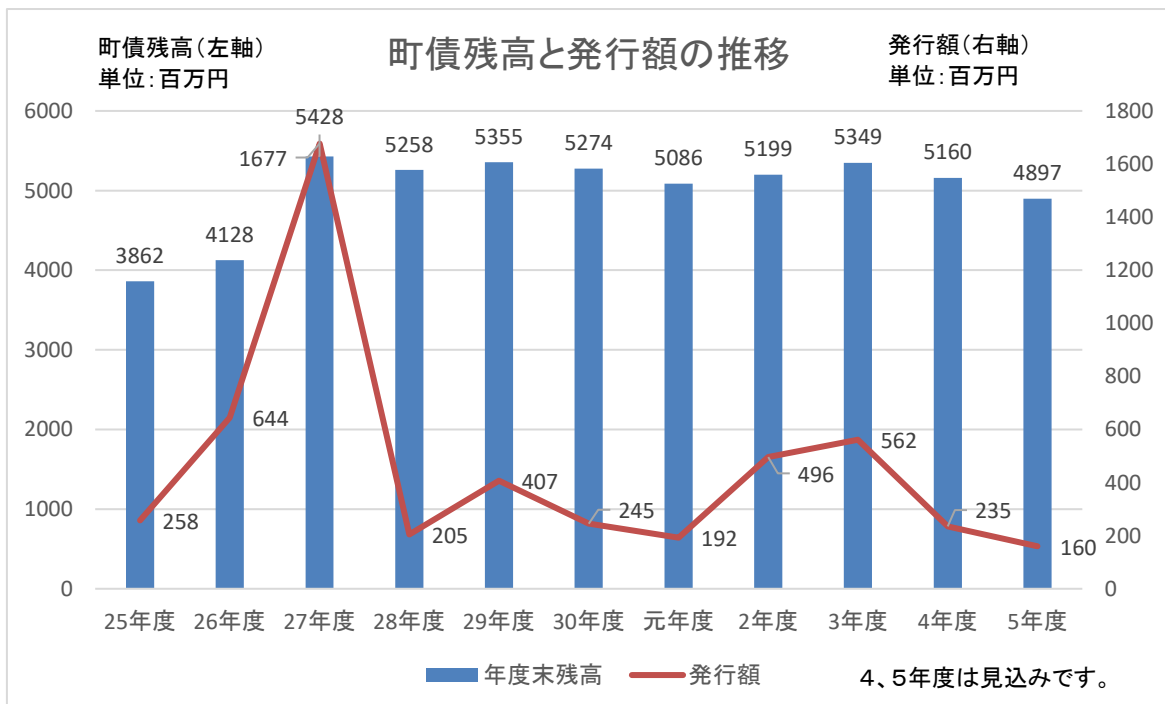
町債は、一度に借り入れる額が高額であることや、世代間負担の公平化を図る意味から、長い期間(数年～30年)をかけて返済します。

主な経費

借金の元金返済分	4億2,253 万円
借金の利子支払分	1,891 万円

財源

町の負担	4億4,144 万円
------	------------



9 1 国民健康保険事業

15億3,620 万円

国民健康保険は、農業者や自営業者などが加入する医療保険制度です。令和5年度の加入者(被保険者)は3,025人を見込んでいます。

運営にかかる財源は、加入者が医療機関窓口で支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う国保税 ②町一般会計からの繰入金 ③県からの補助金などでまかっています。

医療費の支払いは、医療機関へ直接支払うのではなく、群馬県国民健康保険団体連合会を通じて支払われます。

主な経費

医療費などの保険給付費	10億2,619 万円
群馬県への納付金(医療給付費分)	2億8,277 万円
群馬県への事業費納付金(後期高齢者支援金分)	1億961 万円
群馬県への事業費納付金(介護納付金分)	3,575 万円
疾病予防のための健康診査、人間ドック補助など	2,873 万円
国保事業運営のための事務費など	1,198 万円
その他	4,117 万円

財源

国民健康保険税	2億9,496 万円
県からの補助金	10億5,676 万円
町一般会計からの繰入金	8,334 万円
国民健康保険基金からの繰入金	6,731 万円
前年度からの繰越金	2,700 万円
その他	683 万円



★今年度の特徴

- 子育て世帯支援事業として、18歳以下の子どもがいる世帯の経済的負担を軽減するため、国保税均等割相当額を子ども1人につき補助します。
- 出産育児一時金 1児につき50万円
- 人間ドック助成

・日帰り(半日)	26,000円
・日帰り(1日)	37,000円
・1泊2日	42,000円
・脳ドック	26,000円

介護保険は、40歳になると加入し、65歳以上の方は介護が必要と認定された場合にサービスが受けられる制度です。(40～64歳までの人も特定疾病により介護が必要になった場合はサービスを受けられます)

令和5年度の加入者(被保険者)は、65歳以上の1号被保険者を4,499人と見込んでいます。このうち、要介護者と要支援者は644人で、認定率は14.3%です。

運営にかかる財源は、加入者が介護サービスで支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う介護保険料 ②町一般会計からの繰入金 ③国や県からの補助金などでまかっています。

支払いは大きく2つに分けられ、一つは要介護認定者が利用した介護サービスにかかる保険給付費です。もう一つは地域支援事業として介護予防、日常生活支援、地域住民の生活に必要な包括的支援事業にかかる経費です。

主な経費

介護サービスなどの保険給付費	12億5,711 万円
地域支援事業	7,717 万円
介護保険事業運営のための事務費など	1,087 万円
その他	115 万円

財源

介護保険料	2億9,684 万円
国からの補助金	2億9,798 万円
県からの補助金	1億9,880 万円
支払基金からの交付金	3億4,985 万円
町一般会計からの繰入金	2億88 万円
その他	195 万円



★今年度の特徴

介護保険事業では、保険給付の円滑な実施のため、3年間で1期とする介護保険事業計画を策定しています。今年度は、アンケート調査の結果や国の基本方針により、第9期計画(令和6～8年度)を策定し、介護保険料基準額を決定します。これまでの基準額は次のとおりです。

	H30～R2	R3～R5	改定額
月額	5,100 円	5,750 円	650 円
年額	61,200 円	69,000 円	7,800 円

9 3 後期高齢者医療

1億7,430 万円

後期高齢者医療は、75歳(寝たきり等の場合は65歳)以上の方が加入する医療保険制度です。令和5年度の加入者(被保険者)は2,220人を見込んでいます。

運営にかかる財源は、加入者が医療機関窓口で支払う自己負担額以外は、①加入者が支払う後期高齢者医療保険料 ②町一般会計からの繰入金などでまかっています。

医療費の支払いは、医療機関へ直接支払うのではなく、群馬県後期高齢者医療広域連合を通じて支払われます。

主な経費

後期高齢者医療広域連合会納付金	1億7,318 万円
その他事務費など	112 万円

財 源

後期高齢者医療保険料	1億2,017 万円
町一般会計からの繰入金	5,385 万円
その他	28 万円

9 4 農業集落排水事業

6,300 万円

農業用の水質保全、農村生活環境の改善を図り、合わせて公共用水域の保全に寄与することを目的に平成2年度より農業集落排水事業を実施しています。

今後は、施設・設備等の維持管理に係る経費の削減を図るため、計画的に公共下水道へ編入する予定です。令和4年度に天引地区を実施、令和5年度に城南上野地区、さらに令和8年度を目途に善慶寺国峰地区を公共下水道へ編入する計画となっています。

主な経費

城南上野地区の維持管理	50 万円
善慶寺・国峰地区の維持管理	1,629 万円
地方債元利償還金(過去の工事で借りた借入金の返済)	3,977 万円
その他	644 万円

財 源

農業集落排水使用料	1,186 万円
町一般会計からの繰入金	4,990 万円
その他	124 万円



★今年度の特徴

農業集落排水施設整備は完了していますので、維持管理や修繕を行っています。なお、令和5年度は城南・上野地区を公共下水道の処理に切り替えます。

甘楽町の下水道は、利根川上流流域下水道(県央処理区。処理場は玉村町)に接続しています。昭和62年度より下水道整備を行ってきましたが、概ね整備が終了となります。

令和6年4月からの地方公営企業法の適用に向けて、経営的な視点に立った取組みが求められています。現在、下水道事業の主要幹線における整備はほぼ終了となることから、今後は、接続率を向上させることによって、安定した料金収入を見込むとともに、維持管理に係るコスト削減や事業の統合などを行いながら一般会計からの繰入金や経費の削減を進めます。

主な経費

公共下水道建設事業(舗装本復旧、流域下水道負担金、人件費など)	7,313万円
地方債元利償還金(過去の工事で借りた借入金の返済)	2億2,845万円
公共下水道維持管理費(保守点検委託料、マンホールポンプ交換工事など)	1億1,682万円
その他	50万円

財源

加入者の分担金・負担金	1,905万円
公共下水道使用料	1億1,816万円
国からの交付金	2,475万円
県からの交付金	50万円
町一般会計からの繰入金	1億9,954万円
町債(事業を行うための借入)	5,640万円

(ただし、町が返済する元利償還金のうちの一部は、後年度に

普通交付税として町に交付されますので、実質の負担は軽減されます)

その他	50万円
-----	------



★今年度の特徴

農業集落排水の城南・上野地区を編入し、下水道事業経営の効率化を進めるとともに、下水道施設の老朽化状況を把握し、計画的な修繕を行うため、ストックマネジメント計画を策定いたします。

★宅内排水設備工事費補助金は5年度で終了します。

令和4年から令和5年度(令和6年1月末までの申請が対象)の期間で、汲み取り槽・合併浄化槽・単独浄化槽から下水道へ切り替えた場合に、宅内排水設備工事費の一部を補助(上限3万円、子ども加算2万円)しています。

9 6 水道事業（収益的支出）

2億4,540 万円

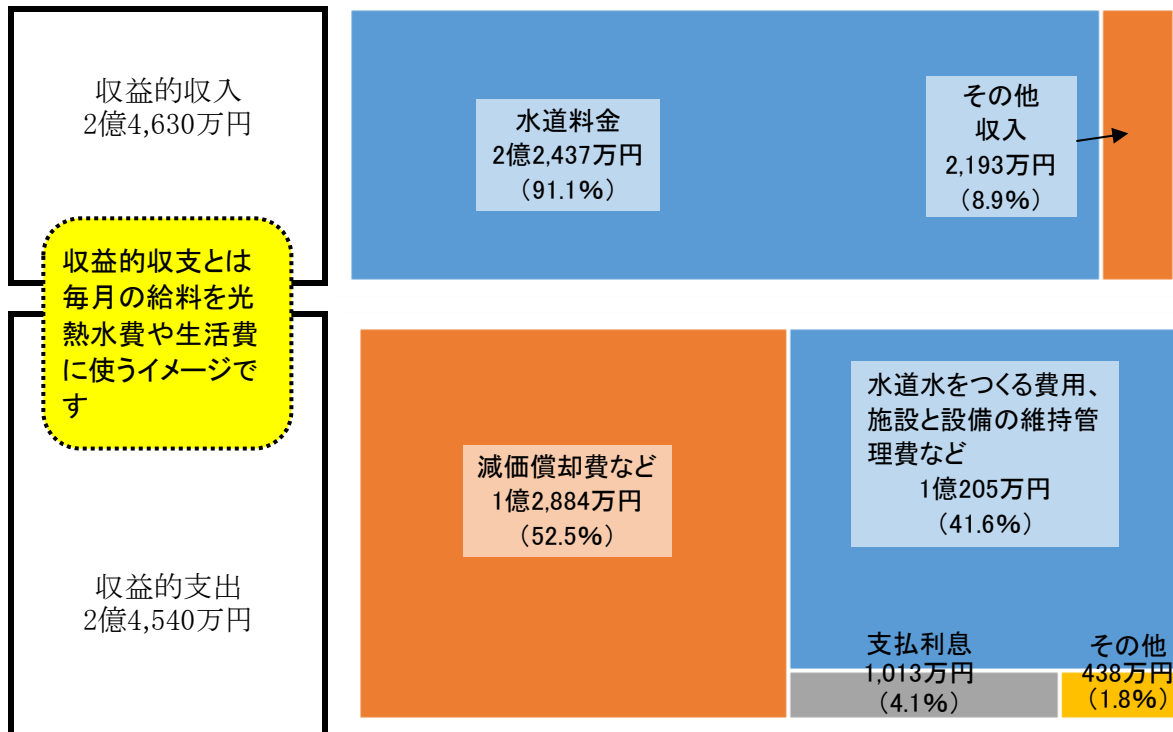
（資本的支出）

2億1,776 万円

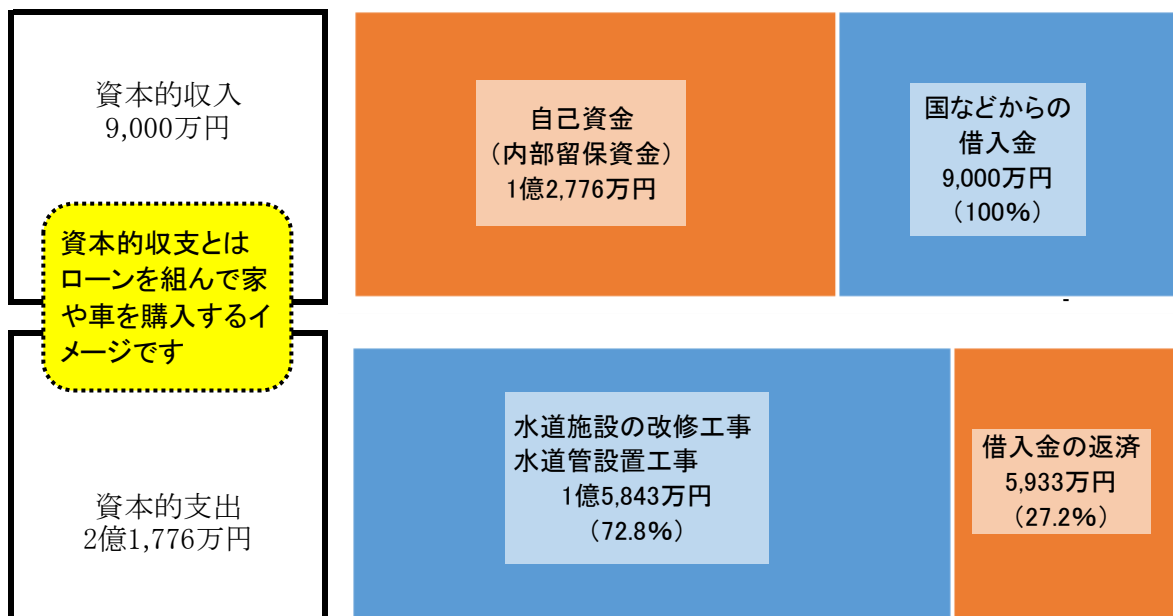
安心・安全で良質な水をお届けするため、老朽化した水道管・施設・設備の改修や漏水対策・水質管理体制の強化などにより、適正な施設・設備の維持管理を進めます。

会計は「公営企業会計」で経理し、収益的収支（現在のために使うお金）と資本的収支（将来のために使うお金）の大きく2つに区分されます。

▼現在のために使うお金 ※営業活動により得た収益は建設改良積立金などに充てられます。



▼将来のために使うお金 ※収支による不足額は自己資金を補填します。





★今年度の特徴

＜水道データ＞

給水戸数
5,406戸
年間総給水量
162万9,300m³
1日平均給水量
4,452m³

＜主な事業＞

国道・県道改良に伴う水道管工事	4,300万円
町内配水管布設工事	8,690万円
葦の萱浄水場制御盤更新工事	506万円
水利権使用許可申請書(更新)作成業務委託料	460万円



白倉浄水場

今年のまちづくり予算

令和5年4月発行

甘 楽 町

(企画課財政係)

☎ 0274-74-3134 (ダイヤルイン)

メール zaisei@town.kanra.lg.jp